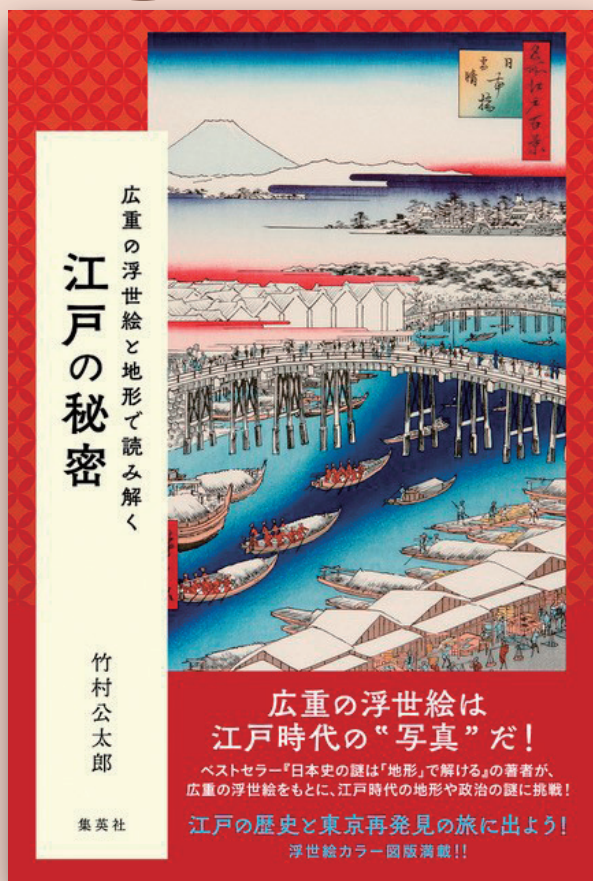


『広重の浮世絵と地形で読み解く 江戸の秘密』

竹村公太郎 著

2021年
4月30日
発売



広重の浮世絵は、
江戸時代の写真だ！

広重の浮世絵をこよなく愛好する著者・竹村公太郎氏が、ある日、ふと発想を転換して浮世絵を見たところ……驚くべき事実が浮世絵に書き込まれていることを発見！

写真のない時代、広重の描いた浮世絵こそが報道写真のようなものではないか？

さらに著者の専門である土木や治水の知識をもって見ていくと、江戸の地形や水利の歴史の謎が解け、知られざる江戸幕府の政治や仕組みの秘密も見えてくる。現代にも通ずる資源不足とリサイクルのテーマや環境問題などもとりあげる。

四六判ハードカバー
ISBN 978-4-08-781700-3

定価 2,530円 (10%税込) 本体 2,300円

『日本史の謎は「地形」で解ける』シリーズが30万部以上のベストセラーとなった竹村氏ならではの冴えた謎解きが、「名所江戸百景」や「東海道五拾三次」に描かれた名所に合わせて展開される。日本橋、四谷内藤新宿、溜池、新橋……この一冊を片手に、江戸の地形や歴史めぐりの散歩をしても楽しい！

美しい浮世絵はもちろん、カラー図版満載で、保存版にしたい一冊です！是非ご一読の上、貴媒体にて御紹介のほど宜しく御願ひ申し上げます。

【著者プロフィール】 竹村公太郎 (たけむら こうたろう)

(特非) 日本水フォーラム代表理事及び事務局長、人事院研修所客員教授、博士(工学)。1945年生まれ、神奈川県出身。1970年東北大学工学部土木工学科修士修了。同年建設省入省。宮ヶ瀬ダム所長、中部地方建設局河川部長、近畿地方建設局長、国土交通省河川局長などを歴任。2002年、国土交通省を退職後、(公財)リバーフロント研究所代表理事を経て、現職。一貫して河川、水資源、環境問題に従事。

著書に、『日本文明の謎を解く』(清流出版)、『土地の文明』、『幸運な文明』、シリーズ合計で30万部を超えるベストセラー3部作『日本史の謎は「地形」で解ける』、『日本史の謎は「地形」で解ける(文明・文化篇)』、『日本史の謎は「地形」で解ける(環境・民族篇)』(いずれもPHP文庫)、『水力発電が日本を救う』(東洋経済新報社)など多数。

目次

第1章 日本橋から始まる旅

——もっと薄く、より小さくが、
日本人のアイデンティティ——
浮世絵「日本橋 雪晴」「日本橋 朝之景」



第2章 「参勤交代」と「統一言語」

浮世絵「岡崎 矢矧之橋」

第3章 水運が形成した情報ネットワーク

浮世絵「四ツ木通用水引ふね」
「江尻 三保遠望」「両国橋大川ばた」

第4章 戦国のアウトバーン、小名木川

浮世絵「小奈木川五本まつ」「中川口」

第5章 関東平野の最重要地、軍事拠点「国府台」

浮世絵「鴻の台とね川風景」



第6章 馬糞が証明する

究極のリサイクル都市「江戸」

浮世絵「四ツ谷内藤新宿」「日坂 佐夜ノ中山」

第7章 広重の“禿山”から考える

エネルギー問題

浮世絵「鞠子 名物茶店」「岡部 宇津之山」

第8章 下谷広小路 ——防災都市の原点——

浮世絵「下谷広小路」



第9章 日本人と橋造り ——対岸への願望——

浮世絵「越中 富山船橋」

第10章 日本堤と吉原の遊郭 ——市民が守った江戸——

浮世絵「よし原日本堤」

第11章 遊郭の窓から五〇〇年の時空へ “高台” という仕掛け

浮世絵「浅草田圃の町詣」

第12章 ヤマタノオロチが眠る 湿地都市の宿命

浮世絵「箕輪金杉三河しま」

第13章 文字どおりの鳥瞰図

浮世絵「深川洲崎十萬坪」

第14章 日本の命の水の物語

浮世絵「玉川堤の花」「紀の国坂赤坂溜池遠景」



第15章 歴史が生んだ近代 ——牛から電車へ——

浮世絵「大津 走井茶店」

第16章 近代化の象徴、鉄道開通と住民運動の始まり

浮世絵「東京品川海辺蒸気車鉄道之真景」

本件に関するお問い合わせ先

取材、書評などのご連絡は (株) 集英社 学芸編集部 ビジネス書編集 佐藤絵利あてにお願い申し上げます。
カバーの PDF 画像や著者の写真データなども、すぐにメールでお送りいたします。

株式会社 集英社 〒101-8050 東京都千代田区一ツ橋 2-5-10 <http://www.shueisha.co.jp>

学芸編集部 企画出版・ビジネス書編集 佐藤絵利

Tel : 03-3230-6068 Fax : 03-3230-1927 E-mail : e_sato@shueisha.co.jp / erisatohappytime@gmail.com